

幸福な状態で生きていくためには-香川県三豊市で考える-

代表者：立命館大学政策科学部2回生 飯塚遼馬

メンバー：田尻正澄、濱ことの、桐彩萌、武田七海、長友ほのか

メンター：田島颯 暮らしの交通株式会社社長

VISION / なぜやるのか



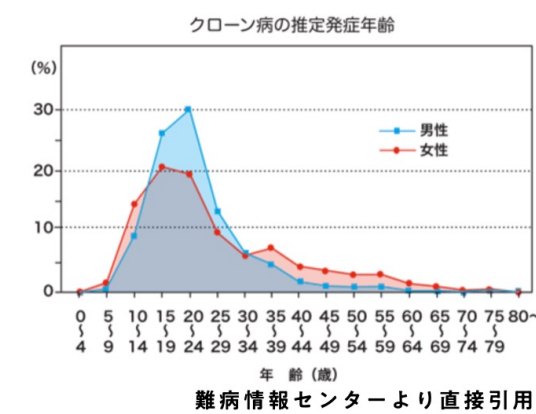
私は高校2年生の頃に炎症性腸疾患という難病を発症している。入院や手術、人工肛門をいう障がいを持つような経験もした中で、強く思ったのが「幸せに生きたい」ということだった。

炎症性腸疾患とは？

大腸及び小腸の粘膜に慢性的な炎症または潰瘍を引き起こす原因不明な疾患の総称のこと。

狭義にはクローン病と潰瘍性大腸炎に分類される。

難病情報センターより直接引用



難病情報センターより直接引用

MEMBER



政策科学部2回生 飯塚遼馬
政策科学部2回生 田尻正澄
色マネジメント学部1回生 桐彩萌

文学部1回生 濱ことの
法学部4回生 武田七海
法学部4回生 長友ほのか

社会的な意義



自身の将来や目標について

項目	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
経済成長率	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%
人口	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5
GDP	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
SDGs	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
GDW/Gs	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2030年までの目標として世界が掲げるSDGs。SDGsは「負の遺産」を残さないための持続可能な開発目標である。それが達成された次に目標になるのが「Well-being」(幸せ)である。負の遺産ではなく「正の遺産」をどう繋いでいくかということが大切になってくる。その一方で、日本の若者の自己肯定感は先進国の中でも際立って低く、幸せを実感できていない。

HOW/どうやって

香川県三豊市での「暮らし」を体験する。その中で、「理想の暮らし」を妄想することが幸せを考えることに繋がるのではないかな。

生活の大部分を占めるのが暮らしであるからこそ、その中にどんな景色を作りたいか、どんなものが欲しいかは「幸せ」を考えることに繋がるのではないかな。



自然とそこに根付く企業との触れ合いの中で理想の暮らしを妄想してみる

WHY / なぜ三豊なのか

香川県の三豊市では、ここ数年間で数十社の新しい企業が立ち上がり新しい事業も生まれている。

その事業に共通しているのは「三豊での暮らしをより良くする」ということだった。



暮らしの交通株式会社社長 田島颯さん

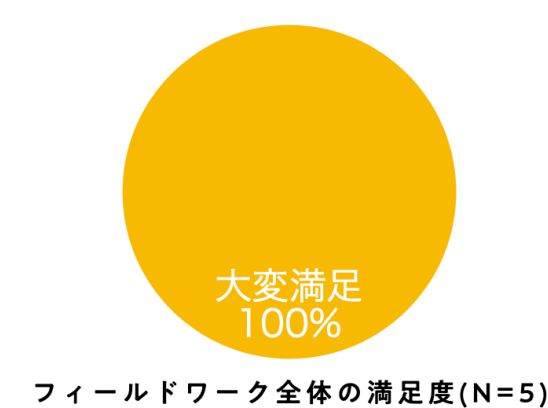
暮らしの交通株式会社 交通×教育

地域タクシー事業社、地元企業そして地域関連企業、計12社が発起人となり設立された、仁尾町に本社を置く交通会社。呼べば来る、エリア定額乗り放題の新たな移動手段『mobi』を仁尾・詫間エリアで提供しています。

親御さんの送迎がないと、子供たちの移動がさらに制限され、選択肢へアクセスできない問題を解決することで、三豊の暮らしをより良くする取り組みをしている。

REVIEW/振り返り

<アンケートより感想を一部抜粋>



フィールドワーク全体の満足度(N=5)



理想の暮らしを妄想することが、幸せを考えることに繋がっていたという実感があるか(N=5)

Q.フィールドワーク全体の満足度について
・「幸せ・豊かさ」というものを、三豊で過ごす中で、ふいに感じる瞬間が沢山あり、「**私の中の幸せの定義**」を見つけることが出来たように感じたからです。
・幸せの理由は気候なのか、土地なのか、人間関係なのか、何かわからずにいました。ですが、**三豊での活動を通して自分らしく生きることが幸せなのではないか**と思いました。

Q.理想の暮らしを妄想することがなぜ幸せを考えることになるのか
・暮らしは**日常の大部分を占める**物だと思うから、繋がっていると
思う。
・日々の暮らしの**連続が人生を構成**しているので幸せについて考えるということは、暮らしについて考えることだと言えるから。
・最後に理想の暮らしをみんなで想像しました。その時に、**幸せだ**
と思うこと、それが理想の暮らしであると思いました。

WHY / なぜ三豊なのか

三豊での暮らしを体験しながら、実際の現場に行ってみる、実際に人と話してみることによって幸せを見つめる時間が作れるのではないかな。



REVIEW/振り返り

<メンバーの理想の暮らしとは>

大切な人と、「この瞬間を一生忘れたくない」と思える経験ができるような、そんな素敵な暮らしです。
気軽に海や山や自然を感じられる土地に住みたい。
自分の好きな人たちに囲まれて生活すること。
穏やかで起伏のない暮らし、癒しがある暮らし。
私は、自分が自分らしくいれることと、好きな人たちと共に過ごせることだと思います。

<メンバーの幸せとは>

大切な人たちの幸せ。その瞬間に、私も隣に居られたら、きっとそれ以上の幸せはないだろうと思います。
ぼーっとする時間があること。
友人、先輩後輩、恋人、家族と一緒に時間を進めること。
美しい風景と精神的充足感が得られるような人と一緒にいられること
私に撮って幸せとは、人と場所を介して自分が得る温もりだと思います。

幸せを考え続けることが大切だと思いました。
このゼミがその第一歩になったと思うので、これからも続けて「幸せ」を探究し続けたいです。